

コスモス班、久しぶりに班会を開催

7月21日、草津東のコスモス班が、コロナ禍で大変な時期でしたが久しぶりの班会を、感染予防を徹底したうえで開催されました。当日は班メンバー5名と職員1名の計6名で楽しく交流。草津市立ロクハ荘に集まり、「いつでも元気」を使って、肩こり改善のエクササイズでみんな一緒にレッツ体操！肩だけでなく、腕や足もつかい「普段使わないところを動かすので、ぴりぴりする！」「定期的にやらないといけないね」など等、皆さん肩がこっている様子でした～。

いつでも元気の「レッツ脳トレ」を用いて、みんなで脳トレ！漢字問題で少々難しいものもあり、「うーん、難しいなあ」や「ここはわかった！」などそれぞれ知恵を絞って取り組みました。

熱中症予防のためのミニ学習会も、資料を使っておこないました。今回は会場の都合あり、健康チェックが出来なかったのが残念でした。



利用者さん宅に、コロナを持ち込まない看護・介護につとめる。（なないろ）

訪問時は換気に留意し、お互いの感染リスクを減らす工夫を。（居宅介護）

最後の時を本人、

家族と一緒に過ごすことが

できるように支える努力

訪問看護、ヘルパー、ステーション、なないろ

私たちは利用者さんのご自宅に伺い、看護、介護を行ってまいります。このコロナ禍で気を付けていることは利用者さんのお宅に新型コロナウイルスを持ち込まない、ということです。利用者さんごとに予防衣（エプロン）を交換し、また私たちが感

染し、知らず知らずに持ち込む、ということを防ぐために、ゴーグル、マスクの着用をしています。ゴーグル、マスクは蒸れたり、曇ったり、となかなか厄介なものはありますが、職員は着用を徹底しています。事務所の洗濯機、予

防疫は毎日フル活動でがんばってくれています。

看護、介護の面では面会制限のかかるなか、ご自宅で一緒に過ごしたい、というご家族も多く、余命数日、という状態で退院されて来られる方も多くいらっしゃいました。最期の時をご本人、ご家族と一緒に過ごすことができれば、これからも看護師、ヘルパーで支えさせていただきたいと思えます。

「困りごとがあればいつでも電話ください」と

声をかけてます

こびらい生協診療所、居宅介護支援事業所

基本的なことですが、サージカルマスク、ゴーグルを着用し訪問。おうちに入る前には、手指をアルコール消毒しています。訪問時も換気に留意して、お話しするようにしています。また、時間も短時間を心がけ、お互いの感染リスクを出来るだけ減らす工夫をしています。でも、コロナ禍だからといって、病気や状態の変化がストップするわけでも、心配

ごとが無くなるわけでもありません。不安な気持ちで次の訪問まで待っていたかたかないように、「困ったことがあれば、いつでも電話をくださいね。」と必ずお声をかけるようにしています。

